令和元年度実施 議会報告会・車座集会　参加者意見のまとめ

開催日：令和2年1月27日

開催地区：三保地区　　場所：三保支所

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
道路関係	・行き止まりの道が何本かあるが、すべてを開通させるのは無理。どの道を開通させるのがよいか。	・山北藤野線の開通が良いのではないか。	相模原市へ抜ける道路については、県と町とで調査研究する予定である。
	・スマートＩＣ東京方面しか出入りできないと聞くが本当か。	・地形上と費用の面から上りのみのハーフICである。	・地形上と費用の面から東京方面へのハーフＩＣとしている。
	・県道の行き止まりを何とかするというができるのか。	・相模原市への道や秦野峠林道や道志村へ抜ける道の必要性を県その他関係各所へ訴えていく。	・相模原市へ抜ける道路については、県と町とで調査研究する予定。
	・スマートＩＣを出て道の駅までの間は何かできるのか。	・植栽と聞いているが、これから議会も地元のグループの方々との意見交換を行う事により、町へ提言できるものはしていく。	・（仮称）山北スマートIC周辺土地利用構想では、景観形成ゾーンとしてサクラ等の列植や緑のトンネル、ウェルカムサインなどの設置を考えている。
	・工事用道路の町への移管や事務所施設の後利用等は、どうなっているのか。	・議会では検討中である。良い意見があれば申し出てほしい。	・工事用道路は、町道や林道への移管を進める予定である。仮設の建物は撤去することとなっている。
交通関係	・町内循環バスを観光に使えないか	・運行ルートには制限がある。	・町では令和２年度から福祉タクシー券を富士急湘南バスで回数券としても利用できる制度に拡充する。循環バスの町内拡充は現時点では難しいが、交通網の再構築についてはワーキンググループで引き続き検討している。議会としても引き続き重要課題として調査研究を進めていく。
	・共和の福祉バスのような交通手段の研究はしているのか。	・共和地区の方と懇談し、原資や運営資金など教えていただいた。その中で清水地区への延伸についても打診したが、共和全体の意思合意が必要なため、今後の課題となった。	
	・町の循環バスは使いにくそうだ。 スクールバスは昼間はどうしているのか。	・現状の改善を役場と共に考える。	
	・三保でも共和の福祉バスの様にやってみたいが財産区が潤沢ではない。一緒に出来ないか連携してみたらどうか。	・共和地区では、意欲のある方たちが自腹で始めた経緯もあり、お金のことだけではなく共助の精神で取り組んだ結果だと思う。連携も必要なことだ。	
	・バスについては町の循環バスを走らせてもらいたいと思うが、富士急行の撤退も心配だ。	・町は富士急湘南バスからの減便の要求を、 阻止するために補助金を出して対策等をしている。	
	・最近新東名工事現場の県道との合流点のところだが交通整理員が不在の時もあり、危険だし待たされることが目に付く。	・議会から関係者に伝える。	・工事時間帯は常時誘導員が配置されている。
	・路線バスは観光を目的としていて、時刻表を見ても住民には目が向いていない。		
	・路線バス廃止というのは、それに代わるものがあれば良いかと思うが、現状では難しい。交通手段を考えて欲しい。	・議会でも大きな問題と捉え、さらに調査研究を進めていく	

令和元年度実施 議会報告会・車座集会　参加者意見のまとめ

開催日：令和2年1月27日

開催地区：三保地区　　場所：三保支所

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
鳥獣被害	・山梨県はサルの捕獲を条例で認めている。害獣として駆除を認めている。3年前に町に「サルに餌を与えないでください。」という看板を道の駅だけでなく三保地区にもつけてくれるように要望したが実現していない。また、餌付けの禁止を徹底するよう指導して欲しい。	・町に伝える	・看板については、整備公社と連携して設置していく。
	・林道整備も必要。木を切りだすことによって、下草が生え、山の保全につながる。	・木材はB級品が多いが、地盤に打つ杭として有効活用でき、業者も欲しがっている。	・
観光関係	・桜以外の花の町づくりを考える活動を支援して欲しい。寂れるばかりである。	・	・花植えに対する支援はあるので地区やグループで活用してほしい。
	・ＮＰＯがミツマタを植えている。 町内全域にミツマタを植えてみたらどうか。	・	・今後検討する。
	・１９号台風の被害による計画断水、土砂被災などで風評被害が広がり地域の観光事業は打撃を被っている。町には風評を打ち消すために、国や県への働きかけを強力に行って欲しかった。	・	・2月臨時会で補正予算を認めてもらい、2団体に支援をした。
	・Ｄ５２の延伸計画はどうなっているのか。土地を買収して計画を進めたらどうか。	・町は延伸に向けて検討している。	・D52整備計画として25m延伸する計画がある。今後、具体的な実施検討をしていく。
	・丹沢荘は５月に譲渡されたが、いつオープンするのか。	・オープンに向けて準備していると聞いている。	・
	・イベントには欠かせない駐車場が少なすぎる。		
	・カヌーは夏に行うという概念があるが、７月は水を使う時期である。カヌーマラソン大会の開催時期を見直したほうが良い。		・オリンピックの開催を機に日程の変更を行う予定
	・カヌーマラソン大会への参加費が安すぎる。		・参加費は、令和2年から値上げを考えている。
	・丹沢湖の湖面の有効な活用方法が必要では。		・令和2年度で、SUPの利用展開を図る。今後、旅館組合や地元観光業者と有効な観光資源として考えていきたい。
	・花火大会も夏ではなく、冬の開催の検討も必要では。		
	・丹沢荘が売却されて、10年は旅館をやるとの約束をしたのに手つかずになっているが、今後はどうなるのか		・オープンに向けて準備をしていると聞いているが台風災害の復旧で遅れている。

令和元年度実施 議会報告会･車座集会　参加者意見のまとめ

開催日:令和2年1月27日

開催地区:三保地区

場所:三保支所

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
公共施設関係	・旧山北体育館の利用はどうなっているのか。商店街を生かす活用方法は考えないのか。	・議会では観光客も利用できるトイレの設置や地域の避難所、住民の立ち寄り施設、等を含めた多目的施設を要望している。	・すでに概略のイメージ図が出来上がっている。今後コンセプトや具体的な計画を盛り込んだ計画書を作成していくことになるが、体育施設建設検討委員会を通じ、慎重な検討をしていく。
	・森林館、ビジターセンター、ハイツ＆ヴィラの跡地について地域としての利用方法を打ち出すのが難しい。	・	・
	・中川ハイツ＆ヴィラの跡地の利用として、花畑にして、足湯を作り、ドッグランを作ったり、「温泉の道」を作ろうと、10年前地区振が青写真を3度出したが方向性が出ていない。町の考え方は地域任せだ。	・跡地の利活用は議会で早急に対応すべき課題としている。	・町から提案を行う。その後検討組織を立ち上げてやってほしい。
	・三保小学校の活用だが、鹿島高等学校があるので制約があるのではないのか。	・通信制なので、スクーリングの時のみ、にぎやかになるという事だと思うので、問題ないのではないか。	・
	・使用していない薬草園・森林館をどうするのか。また、看板があるが撤去すべきでは。	・	・ユーシンブルーが再開した際に、どんな利用ができるか検討中である。（令和４年４月には再開予定） 森林館跡地にきのこ園がオープンする。森林組合が指定管理者となり一体的に整備する提案もある。
	・ビジターセンターの活用方法で、町は避難所として考えているようだが、ハザードマップでは危険な場所だと把握しているのか。	・	・旧ビジターセンターは避難所として指定はしていない。
	・三保小学校廃校後の活用について、岩盤層なので避難所にどうか。	・地域の皆さんで知恵を出し合っていただき、議会としても検討していく	・（仮称）山北スマートIC周辺土地利用構想の一環として、三保小学校跡地に三保支所機能を移転し、自然学習や農業体験、サテライトオフィス、ジビエ食堂などの体験交流拠点利用できないか提言した。検討チームを作り、具体的な利活用について検討したい。
	・支所が老朽化しているので、三保小学校に支所を移転してはどうか	・	
	・三保小の跡地の利用について町は検討委員会を立ち上げて検討すると言っているが、その後町からの働きかけがない。	・議会でも学校跡地については検討している	・早期に、庁舎内で検討委員会を立ち上げ、令和2年度中には答えを出したいと考えている。 検討委員会メンバーについては、未定である。
	・三保小学校の廃校が令和3年3月に迫ったが、三保中、清水中の統合後の地域の変化を調べてほしい。人口の流出が進んでいく。これから若い人がどんどん出て行ってしまう。町内の中心部だけが栄えていればいいのか。	・若者が地域から出て行っていることは聴いている。地域の変化や、課題を地域と一緒に検討したい。	・

令和元年度実施 議会報告会･車座集会　参加者意見のまとめ

開催日:令和2年1月27日

開催地区:三保地区

場所:三保支所

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
人口対策関係	・若い人達が町外に出て行っている。学校がないことが、地域の人口減少の１番の要因では。	・	・
	・生活が不便だし、若い人はいなくなるし、高齢者もいなくなり寂しくなる一方だ。皆そう感じている。	・スマートＩＣの活用による観光の活性化、三保小学校建物の有効活用（三保支所の移設・起業家のサテライト等）活性化策を模索している。	・（仮称）山北スマートIC周辺土地利用構想の一環として、三保小学校跡地に三保支所機能を移転し、自然学習や農業体験、サテライトオフィス、ジビエ食堂などの体験交流拠点利用できないか提言した。検討チームを作り、具体的な利活用について検討したい。
	・人口が減るとのことだが、10年後にどのくらいと考えているか。	・何も手を尽くさなければ2040年には6500人くらいとのデーターがある。その為いろいろ対策を町は行っているし、議会も提案している。	・
総務･その他	・三保地区も昔のように安全ではなくなった。防犯や不法投棄の抑止のためにも防犯カメラの設置をするべきだ。	・個人としても設置を検討していただきたい。 不法投棄等の情況等については確認する。	・町民の安心安全のため必要であれば自治会要望をしてほしい。
定住対策	・空き家に移住者を呼び込めば人口も増えるが、良い物件があっても貸してくれない人が多いのでは。	・町も定住対策に力を入れている。空き家持ち主の協力が必要である。	・町も定住対策に力を入れている。空き家持ち主の協力が必要である。
議員のなり手・報酬・定数関係	・優秀な若い人が立候補するくらいの報酬に上げた方が良い。	・議員の仕事に魅力を感じられるような議員活動をしていく事を進めていきたい。報酬は皆さんと考えていく	・生活給を保障する議員報酬を求めていきたい。
	・定数については、人口が減るなら減らした方が良いと思う。人口の増減に連動でと思う。 ・余り少なくすると、意見が反映されないのである程度は必要だ。	・これから町民の声を聴きながら決めていく。	・あり方検討委員会で議員の適正人数の検討を継続し、町民の皆さんとの意見交換会等を通じて妥当な結論を出していきた。
議会への要望	・２０年後人口減で町が回らなくなる。スマートＩＣで観光客は増えていくのか。三保小の跡地利用でも投げかけるだけでなく、地域に入って一緒に議会も活動してほしい。	・地域のことは地域に任せれば良いということではなく、地域の皆さんと話し合いを通じて解決していきたい。おしゃべりカフェやこうした座談会等を利用して欲しい。	・自治会との連携を図りながら、町の皆さんの声を吸い上げられるように活動を進めていきます。
あり方・その他	・車座集会は話しやすく、地域の人の考えていることが聞けて良かった。 ・時間が足りなかった。	・おしゃべりカフェを開催しているが、今後は今の開催地だけでなく増やしていきたい。	議会ではできるだけ町の皆さんの声を行政に反映していきたいと考えています。皆さんとの直接対話の機会をこれからもしていきたいと考えています。
	・意見を出しても、最後にまとめずに帰ってしまう。最後の10分位を全体のまとめの時間をとったらどうか	・全体でのまとめは時間的に制約ある。いただいた意見について調査し、委員会等で検討し、まとめたものを広報、ホームページに載せていく。	・「議会のおと」やホームページのさらなる充実を進め、みなさんの声がより多くの町の人々に伝わっていくように工夫します。
	・車座集会は地域の中のいろいろな人の話を聞くことができてよかった。	・	議会が進めている「見せる化、見える化」を推進するために町の皆さんとの対話の機会を増やしていきたいと考えています。
	・車座集会は話しやすく、楽しかった。 時間が足りなかった。	・	・三保地域での車座集会の開催を検討している。